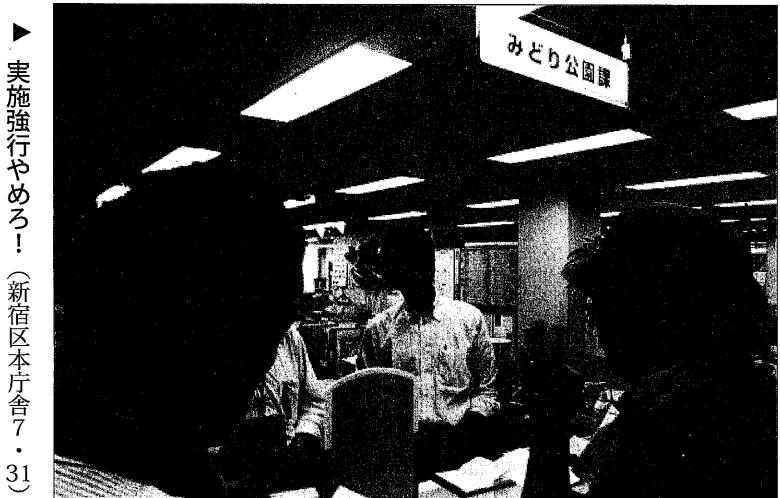






## 新宿区がデモ出発地の公園使用を大幅に制限

## デモ規制強化を撤回せよ



新宿区が、デモ出発地に使える区立公園をこれまでの4カ所から1カ所のみに制限する、という不当なデモ規制強化を行し、この8月1日から実施した。これに抗議し、撤回を求める区民。

都民、労働・市民団体の動きが、このかん続いている。実施前日の7月31日には、諸団体・個人による「集会・デモぐら自由にやらせろ! 実行委員会」の呼びかけで、午後4時から新宿区役所への抗議・要請行動が行なわれた。

区役所庁舎7階の「みどり公園課」で、20余名の市民と、課長以下2名との交渉となつた。会議室は用意されず、カウント一越しで約一時間の交渉となつた。市民たちは、区民にも区議会にも何の説明もなく、公園利用規則を一方的に変えたのは許せない、まさに言論・表現の自由の弾圧だ、なぜ柏木公園や西戸山公園はダメなのか説明せよ、等々冷静に詰問を続けた。

公園課から「4カ所を1カ所にしたのは区だが、警察と相談した」という重要な発言が出てきたが、警察といつ・どこで、どのような相談をしたのか、については言葉を濁した。市民たちは、次回は部屋を用意し、説明責任があるみどり土木部長の出席を検討すること、これを約束させて、ひと

実施強行やめろ! (新宿区本庁舎7・31)

「現場検証が刑罰裁判の帰趨を決定する。」福島第一原発事故での業務上過失致死傷罪を問う東京電力刑事裁判の東京地裁7月公判で、検察官の指定弁護士は、現場検証を求める意見陳述を行なった。現場検証は、刑事裁判の行方を左右する。今や裁判は、新しい局面に突入した。これまでの公判では、大津波の具体的な予見可能

性・結果回避可能性を証明する事実が積み上げられてきた。この事實を正しく裁判官が評価するには、現場検証が不可欠である。福島第一の事故現場、尊い命を奪われた44名が治療・看護を受けた施設や搬送先・搬送ルート、そして避難指示が出された住民の居住地等の検証が求められる。

厳正な判決を求める署名運動はすでに展開中である。第19回公判では、前回に続いて東電土木調査グループの金戸俊道氏が証言。

7月公判は、6、11、24、25、27日(第19回)23回の5回行なわれた。

技術グループの東電社員が出廷。この社員は、事故前に津波対策にかかわり、第一原発の沖合に防潮堤を建設する際の許認可や工事期間などの工程表を作成した。08年6月に漁業権や必要な手続

ての調査指示を受け、7月まで副社長武藤被告に報告している。

この公判で注目すべきは、津波評価基準作成にかかわり、理論的支

柱だった人物。社員は、土木学会の津波評価基準作成にかかわり、理論的支

柱だった人物。社員は、2010年に「再度10m超の津波が高い確率で

## 東電刑事裁判——署名推進で厳正な判決を

# 地裁は「現場検証」行なえ

は、水深20mの冲合に防潮堤を建設した場合、最短16ヶ月後の09年に着工でき、堤の長さ1.5kmで2年半の工期が必要との事実が判明したことだ。敷地内建設であれば、許認可の時間が縮減され、工期も大幅に短縮される。東電には、必要との事実が判明したことだ。敷地内建設が必要との事実が判明したことだ。敷地内建設であれば、許認可の時間が縮減され、工期も大幅に

時間がかかる。だから、不當にも数値の引き下げる奔走していた。東電は、非常に高い津波が来るかと判断しておきながら、不當にも数値の引

かり下げで奔走していた。東電は、「試算の数値が低くならないか」と持ち掛けられた事実も証言した。東電土木調査グループより「試算の数値が低くないか」と持ち掛けられていた事実も証言した。

第23回公判では、事故

が前提で、その上で安

全対策でしかなかった。

第23回公判では、事故

が各項目で、ついに「安

全対策でしかなかった。

この社員は、津波対策

を担当。東電の高尾氏に

言われて、文科省地震調

査研究推進本部の長期評

価に基づき東海第二原発

が証言。この社員は、土

木学会の津波評価基準作成にかかわり、理論的支

柱だった人物。社員は、

2010年に「再度10

m超の津波が高い確率で

ある。

最後に、板門店宣言は

もちろん、今後の日朝交

渉再開のベースとなるで

あるう「日朝ストックホルム合意」も含め、ここ

半世紀の重要な共同声明

が、多数収録されているのもありがたい。(Ku)

## 朝鮮半島をめぐる情勢と私たち

### ——北東アジアの平和と繁栄のために』

著・大畠龍次

発行・完全護憲の会

## 私たちに何ができるのか

この日、午後7時からは「新宿区立公園使わせ

て! 7・31新宿アピールデモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

主催は、同アピールデモ実行委員会。デモ前段の集会には、東京地評、国民救援会から、安倍たお

デモ」が、まさに柏木公民館を出発地に行なわれ、約200名が参加した。

## 東海第一原発——止めよう! 20年運転延長

### 過酷事故起これば大惨事に

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

設計の沸騰水型原発で、過酷事故を引き起こす要因が多く抱えている。

東海第一原発は、1978年に運転開始してから40を迎える古い

